

## Japan Mobility Show Nagoya 2025 で自動車盗難防止啓発

～盗難車と盗難対策機器を展示し、複数の防犯対策の必要性を呼びかけ～

愛知県自動車盗難等防止協議会(会長：小林 剛・NTP 名古屋トヨペット株式会社代表取締役社長)では、11月22日(土)～24日(月)にポートメッセ名古屋で開催されたJapan Mobility Show Nagoya 2025に愛知県警察本部協力のもと、ブース出展しました。

出展ブースでは、県警が解体ヤードを摘発した際に押収した盗難車や、ハンドルロックなどの盗難対策機器を展示しました。また、愛車が盗難されると車種もわからぬくらいの悲惨な状態になってしまう可能性があることを認識してもらうとともに、愛知県が自動車盗難認知件数全国ワースト1であることを伝え、純正セキュリティに加えて、盗難対策機器など複数の対策の必要性を呼びかけました。

実際の盗難車を見た来場者からは、「こんなに何もない車になってしまうのか」「報道で盗難が多いと聞いたことはあったが、純正セキュリティをつけていれば盗まれないとと思っていた」といった声がありました。

また、同ブースでは、マッスルポリスの防犯トレーニング(クイズ)や、子ども警察手帳を作るワークショップ、警察官の制服を着て記念撮影をするコーナーも設置したため、盗難車を興味津々で覗くカーユーザーや写真撮影をする親子連れでも賑わいました。

愛知県内の自動車盗難認知件数は2025年10月末で955件であり、既に昨年1年間の同件数866件を上回り全国ワースト1位の状況です。今回のような自動車ユーザーへの直接的な啓発が愛知県内の自動車盗難の減少に寄与することが期待され、今後も自動車盗難件数減少を目的とした啓発活動等を進めてまいります。



実際の盗難車を展示



記念撮影コーナーの様子



盗難車を見学する来場者



来場者で賑わう警察手帳ワークショップ